

No	4-1-3	分類1	検査・メンテナンス	分類2	—
<b>質 問</b>	CE真空断熱層の真空度の合格値は、どのような法令・規格により規定されているのでしょうか。				
<b>回 答</b>	CEの真空度測定の合格値について、高圧ガス保安法及び関係省令では定められていませんので、各CEメーカーの管理推奨値をご確認下さい。				
<b>補 足</b>	<p>高圧ガス保安法に定められている保安検査、定期自主検査において、CE真空断熱層の真空度測定は、断熱性能を検査する方法のひとつとして定められています。</p> <p>断熱性能検査は、12時間の使用停止状態でCEの自然蒸発率(内圧の昇圧値)を測定し、基準値以下であることを確認しますが、この検査方法が適用できない(運転を停止できない時期に検査を行わなければならない)場合は、真空度測定を行うことにより、この方法に代えることができます。</p> <p>なお、(社)神奈川県高圧ガス保安協会発行のCEマニュアルでは、真空度の判定基準を定めており、一部の都道府県ではこの基準を採用しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・真空度が27Pa(0.2Torr)以下を合格とする。</li> <li>・不良の場合は、真空度が13.5Pa(0.1Torr)以下に真空引きを行なうこと。</li> </ul>				